

## 学びの秋 実りの秋

校長 藤井 和彦

毎年10月1日から年末12月31日までの間、町内会や自治会、学校や企業等で「共同募金」が行われています。都道府県を単位に社会福祉法人である共同募金会が組織されて、この活動を支えています。私が住んでいる地域でも組長さんが各家庭を回り、募金活動が展開されています。

この赤い羽根は、アメリカにおいて共同募金の象徴として使われていたものを、日本でも戦後の混乱期に戦災者の救済の象徴として援用したのが始まりだそうです。当初、GHQの指示で日本でも行う際、募金を自主的に行う団体が立ち上がるまでの暫定措置として、自治体やその関係機関で募金を始めたのですが、新たな組織の立ち上げがなされないまま現在に至っているようです。

ところで、広島東洋カープはグッズ販売に大変力を入れ、そのユニークさと発想の面白さに定評のあることは、皆さんご承知の通りです。今年度、社会福祉法人 広島県共同募金会とカープ球団が協力のもと「赤い羽根×カープコラボ Tシャツ」と「赤い羽根×カープコラボ ピンバッチ」が作成され、募金対象として取り扱われています。それらの売上の一部が、赤い羽根共同募金として、社会をよくする活動に使われます。カープの活躍もあってか、大変好評で例年よりも募金の収益が上がっているそうです。

さて、本校は今年19日に第34回公開教育研究会を予定しています。今年度も1・2年生が生活科、3～6年生が総合的な学習の時間で地域学習を内容とした授業公開を行います。

また、11月に入りますと、今年度も1日(水)2日(木)6日(月)7日(火)の4日間は「学校へ行こう」週間といって、午前中のいつの時間帯でも、児童の学習や活動をご覧いただく取り組みを行います。

地域の皆様方にも、こうした機会に是非、学校に足を運んでいただき、児童の頑張る姿を見ていただければ幸いです。ぜひぜひご来校ください。